



2009年12月4日

この度は京都議定書が結ばれた地で環境メッセージを発信することができ、大変光栄に思います。今月は私の故郷デンマークの首都コペンハーゲンにてCOP15が開催されます。私は環境親善大使グリーンサンタとして、未来の子どもたちが安心して笑顔で暮らすことのできる社会が築かれていくことを祈っています。

私は、これまでも毎年クリスマス時期に日本を訪問し、子どもたちにプレゼントを届けてきました。しかし近年、雪やモミの木、そしてトナカイなどが減少し、子どもたちの大切なクリスマスがおびやかされていくのを見ていくうちに、環境について皆で考えていかなければならないと思うようになりました。そこで、2002年からはエコロジーの象徴色である緑色の衣装をまとい、環境親善大使グリーンサンタとして活動するようになりました。

2006年には子どもたちに緑溢れる未来を贈ることを目的に、グリーンサンタ基金を設立しました。育林や森林教育、国産材製品の寄贈などさまざまな活動を実施することで、各地で地球環境の保護を訴えています。現在、子どもたちの環境学習に役立てられることを目的とした「グリーンサンタの森」は日本国内8箇所につくられ、国産材製品は22都道府県の42の小学校および幼稚園、保育園に寄贈されました。

私の故郷デンマークは、バイオガスや風力発電などの自然エネルギーの推進で知られていますが、未来を担う子どもたちへの環境教育にも早い段階から力を注いできました。自然との共生を理解できるように、子どもたちを自然の中で学ばせるような「森のようちえん」と呼ばれる環境教育も行っています。こうした取り組みについても、今後日本の子どもたちと情報交換していきたいと思っています。

またデンマークでは、より多くの人々に環境に関心を持って行動してもらうため、様々な分野での環境活動にも取り組んできました。現在、日本を含む世界50カ国以上が加盟している国際NGO環境教育基金では5つの環境プログラムを運営しています。そのうち2つがデンマークで誕生したものです。一つは、学校での環境学習プログラム「エコスクール」です。現在、世界47カ国で600万人以上の子どもたちがこのプログラムに取り組んでいます。もう一つは、環境に配慮した宿泊施設に与えられるエコラベル「グリーンキー」です。この二つのプログラムは2009年には日本でも始められて広がりを見せていると聞き、嬉しく思います。

私は、これからクリスマスに向けて、日本での様々なクリスマスイベントや環境イベントを訪問して、多くの方々に環境についてのメッセージを伝えていきます。

世界中の子どもたちがすてきなクリスマスと緑溢れる未来を迎えられますように。
メリーグリーンクリスマス！

デンマーク環境親善大使 グリーンサンタ